

## 理科 p.25 「確かめ」 解答例

1

- ① 気象観測では、空全体を10としたときに、雲の量が0～8のときは、(晴れ)、雲の量が9～10のときは(くもり)として天気を決めています。
- ② 天気の変化は(雲)の量や動きに関係しています。
- ③ 日本付近では、雲は、おおよそ(西)の方から(東)の方へ動きます。このため、天気は、大まかに(西)から(東)へ変わるというきまりがあります。

2

- ① 晴れているのは、㊦と㊧のどちらだと考えられますか。

(㊦)

- ② このあと、㊦の場所の天気は、どのように変化すると考えられますか。

(㊧の場所にかかる雲が東の方へ移動するにつれて、くもりや雨になる。)

※同様のことが書いてあれば大丈夫です。

3

夕焼けは、太陽がしずむ西の方に雲がないときによく見られ、多くの地いきでは、「夕焼けの次の日は晴れ」という天気に関する言い伝えがあります。この言い伝えについて、これまでに学んだことを使って、説明しましょう。

(雲の動きにつれて天気がおおよそ西から東へ変わるため、夕焼けが見える西に雲がない場合は、次の日も晴れると考えられます。)

※同様のことが書いてあれば大丈夫です。